

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 4月 3日

事業所名 アリス

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	整理整頓を心掛けている	法令で定められたスペースを確保し、安全に活動できるように心掛けていく
	2 職員の配置数は適切である	100%	0%	保育士・児童指導員等を配置している	今後も配置基準を順守して配置していく
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	100%	0%	段差をできるだけなくし、滑り止め等を使い配慮している	転倒等で怪我のないよう心掛けていく
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	全職員で話し合いを行っている	目標設定をし期間を決めて振り返り、改善点を検討している
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	職員間での話し合いを行っている	集計結果は今後の課題点とし検討していく
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	評価表の結果を踏まえ集計を取るだけでなく、スタッフ全体で振り返れるように公開している	事業所のホームページやSNSで公開している
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0%	100%		今後検討していく
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	研修情報を共有できるようにしている	外部研修や講師を招いて内部研修を行い資質向上に心掛けていく	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	一人一人の課題を検討し話し合っている	送迎時やお迎え時等保護者と話し、ニーズや課題を考えられるように心掛けていく
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	誰でも記入しやすいようにしている	情報が整理しやすく誰が見ても分かりやすく、定期的に見直しを行うよう心掛けていく
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	日々のミーティングにて職員間で考えている	子どもたちが楽しめるように心掛けていく
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	一人一人の体調や様子を観て変更を行っている	新しい遊びや制作等を考え固定化しないように心掛けていく
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%	固定化されないように子どもたちと考えている	平日は個々に応じて休日は全体を通して出来るように心掛けていく
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	日々気づきや変化を話し合う場を設けている	状況に応じて個人や集団で適切に関わっていけるように心掛けていく
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	支援開始前にミーティングを行い共有している	伝達等をしっかりと行い適切に支援できるように心掛けていく
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	終了後にミーティングを行い共有できるようにしている	伝達シートや記録等を通して共有できるように心掛けていく
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	記録の大切さを都度説明し伝えている	日々の記録が大切な事を職員全体で考え、より良い記録ができるように検討していく
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	職員全体で話し合い必要性を判断している	必要に応じて計画書へ反映できるように心掛けていく
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	100%	0%	複数の活動を組み合わせ出来るように支援している	ガイドラインを定期的に見直し支援できるように心掛けていく

関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	職員間で参加者を決めている	児童発達管理責任者だけではなく、児童に関わる職員の参加も継続して実施していく
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%	学校のホームページやお便り等で調整している	今後も情報共有を継続していく
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0%	100%		現在医療的ケアが必要な利用児はいないが対応できるように心掛けていく
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	100%	0%	定期的に会議等を行っている	相談支援専門員等を通して行っていく
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	100%	0%	電話や会議などにて伝達している	相談支援専門員等を通して行っていく
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%	0%	研修等参加している	積極的に参加できるように心掛けていく
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	50%	50%	公園や遠足等外出する機会を設けている	昨今の状況に配慮しながら企画・検討していく
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	63%	38%	職員間で話し合い参加者を決めている	積極的に参加できるように心掛けていく
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	送迎時に伝えるようにしている	顔を見て状況や課題等を話ができるように心掛けていく
保護者への 説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	100%	0%	外部講師を招き講習会を行っている	外部講師を招き、相談や悩み等を話せる場所を提供し支援できるように心掛けていく
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	契約時に十分な時間を頂き説明している	不明な点等あれば問い合わせに答えられるように心掛けていく
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	相談があれば一緒に考えていけるようにしている	引き続き支援していけるように心掛けていく
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	100%	0%	父母会等を開催している	配布物等で周知されるように心掛けていく
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	苦情対応窓口を設置している	重要事項説明書に記載の上、周知されるように心掛けていく
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	ホームページや書面にて発信している	発信の頻度等を考え周知されるように心掛けていく
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	全職員に書面・口頭にて説明している	個人情報の取り扱いや大切さ等、職員全体が引き続き注意できるように心掛けている
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	連絡帳を作成し送迎時に伝えられるようにしている	必要に応じて、文章にルビを入れる等の配慮を引き続き心掛けていく
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0%	100%		昨今の状況に配慮しながら企画・検討していく

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%	マニュアル作成し、書面にて配布・説明を行っている	定期的な見直しを行い、必要に応じて変更し周知できるように心掛けていく
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	年2回の訓練を行っている	物品の確認や、経路の確認等定期的に見直し訓練するように心掛けていく
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	虐待防止研修へ参加し、職員全体に伝達している	外部講師を招き研修を行い周知・伝達できるように心掛けていく
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%	身体拘束についての研修を行っている	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うか、手順や記録等を含めて周知・伝達できるように心掛けていく
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	0%	100%		今は医師の指示書に基づくアレルギーのあるお子さんはいないが、対応できるように心掛けていく
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	書面にて共有している	今後も引き続き周知・伝達できるように心掛けていく

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 5年 4月 3日

事業所名 アリス

保護者等数(児童数) 25 回収数 23 割合 92 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	87%	13%	0%	0%	・もう少し広げれば良いと思う ・目的別に分かれているので子どもに分かりやすい ・学習スペースを分けて欲しい	学習スペースは出来る限り分けられるように工夫しておりますが、今後の課題としていきます
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	78%	4%	0%	17%		保育士・児童指導員等配置基準を順守して配置しております。周知していただけるよう努めます
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	52%	13%	0%	35%		整理整頓を心掛け、安心・安全に過ごしていけるよう努めます
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	96%	0%	0%	4%		ニーズや課題を踏まえた計画書ができるよう努めます
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	83%	9%	0%	9%		固定化されないように努めます
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	22%	13%	30%	35%		昨今の状況に配慮しながら、活動できるよう努めます
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	91%	4%	0%	4%		分かりやすく説明していけるよう努めます
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	96%	0%	4%	0%		状況や課題等伝達していけるよう努めます
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	70%	22%	9%	0%		定期的な面談等おこなっているが、今後も支援していけるよう努めます
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	26%	22%	26%	26%		外部講師を招き講習会等をおこなっているが、今後も周知していけるよう努めます
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	78%	9%	0%	13%		今後も周知・説明し迅速に対応できるよう努めます
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	83%	9%	0%	9%		今後も口頭や文章にて伝達していけるよう努めます
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	78%	9%	0%	13%		ホームページやSNS・お便り等で活動の様子を発信しておりますが、今後も周知してもらえよう努めます
14 個人情報に十分注意しているか	91%	4%	0%	4%		個人情報の取り扱いの大切さ等、十分に周知・徹底するよう努めます	
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	87%	9%	4%	0%		年に数回の訓練を行っており、お便りやSNS等で発信しておりますが、今後も周知してもらえよう努めます
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	57%	0%	9%	35%		年に数回の訓練を行っており、お便りやSNS等で発信しておりますが、今後も周知してもらえよう努めます
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	100%	0%	0%	0%		今後もより良い支援が出来るよう努めます
	18 事業所の支援に満足しているか	96%	4%	0%	0%		今後もより良い支援が出来るよう努めます

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせられて実施されることが想定されている。